

PHILIPS

Healthcare

第45回 日本呼吸療法医学会学術集会 ランチョンセミナー1

日時：2023年8月5日(土) 12:00～12:50

会場：第1会場（ウインクあいち（愛知県産業労働センター）2F「大ホール」）

急性呼吸不全に対する非侵襲的呼吸管理

～本邦発のランダム化比較試験（JaNP-Hi試験）からNPPVとHFNCの立ち位置を再考する～

座長：志馬 伸朗 先生

広島大学大学院医系科学研究科 救急集中治療医学

演者：永田 一真 先生

地方独立行政法人神戸市民病院機構 神戸市立医療センター中央市民病院 呼吸器内科

参加方法：整理券はございません。直接会場へお越しください。



共催：
第45回日本呼吸療法医学会学術集会
株式会社フィリップス・ジャパン

第45回日本呼吸療法医学会学術集会 ランチョンセミナー1

日時: 2023年8月5日(土) 12:00 ~ 12:50 会場: 第1会場 (ウインクあいち (愛知県産業労働センター) 2F「大ホール」)

急性呼吸不全に対する非侵襲的呼吸管理

～本邦発のランダム化比較試験 (JaNP-Hi試験) からNPPVとHFNCの立ち位置を再考する～

永田 一真 先生 地方独立行政法人神戸市民病院機構 神戸市立医療センター中央市民病院 呼吸器内科

高流量鼻カニューラ酸素療法 (HFNC) の登場で、呼吸管理方法は大きく変わった。HFNCは十分な加湿や酸素濃度設定が可能な上、PEEP効果や呼吸仕事量軽減など、人工呼吸に準ずる管理を快適に行うことができ、酸素療法と非侵襲的陽圧換気療法 (NPPV) の中間的な役割として使用されるようになった。さらにFLORALI試験では急性1型呼吸不全に対して従来の酸素療法やNPPVよりも予後を改善させることが報告された。そしてコロナ禍において、COVID-19に対してHFNCの使用により挿管が回避できる症例を数多く経験できたことで、HFNCはいまや急性1型呼吸不全における標準的な呼吸管理方法となった。かたやNPPVは2型呼吸不全に対しての有効性は高く頻繁に用いられるが、1型呼吸不全に用いられることはかなり減少している。しかし本当に1型呼吸不全に対してNPPVよりもHFNCの方が「有効」なのだろうか。1型呼吸不全の診療においては、原疾患の治療ももちろんだが、自発呼吸による肺障害 (P-SILI) にも注意しないといけない。NPPVはFLORALI試験以降、過大呼吸を促すことによりP-SILIを悪化させると考えられがちだが、適切な設定や使用方法をすれば逆にP-SILIを軽減させることにより予後を改善する可能性がある。適切な方法でNPPVを用いることでHFNCに比べて良好なアウトカムが得られるのではないか。そのような仮説をもとに本邦で行った多施設ランダム化比較試験がJaNP-Hi試験である。本セミナーではJaNP-Hi試験の結果をもとに、これまで築かれてきたNPPVとHFNCの立ち位置について再考したい。

